



平成 27 年 9 月 30 日

各 位

株式会社リサ・パートナーズ

## 南都銀行グループとの観光活性化マザーファンドを活用した 『奈良県観光活性化ファンド』設立について

本日、株式会社リサ・パートナーズ（本社：東京都港区、代表取締役社長：田中敏明、以下「当社」）は、株式会社南都銀行（本店：奈良県奈良市、取締役頭取：橋本隆史、以下「南都銀行」）との間において、昨年 4 月に設立した観光活性化マザーファンド（以下「観光活性化 MF」）の共同出資者である株式会社地域経済活性化支援機構（本社：東京都千代田区、社長：瀬谷俊雄、以下「REVIC」）、株式会社日本政策投資銀行（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：柳正憲、以下「DBJ」）とともに、「奈良県観光活性化ファンド」を設立いたしましたのでお知らせいたします。

当社は、本年 3 月に同行と REVIC、DBJ の 4 社で観光ファンド組成を主眼においた奈良県の観光活性化に関する連携協定締結し、以後 4 社で定期的に協議・検討を重ねてまいりました。

南都銀行が主たる営業基盤とする奈良県は、我が国有数の歴史的文化遺産が存在する地域であり、国内トップの 3 つの世界遺産を有しております。同県の中核産業である観光関連産業の発展は、雇用機会の創出・増大等を通じて地域経済の活性化に幅広く寄与するものと考えられます。

また、観光活性化 MF は、この 1 年半の間で、着実にその活動実績を積み重ね、訪日外国人客の増加など観光産業の成長機会を捉えると共に、地域金融機関との協調を一層推進するため、これまでの投融資実績や本件を含む目下の投融資検討状況も勘案の上、本年 8 月にはファンド総額を 13 億円より 52 億円に拡大いたしました。

このたび設立の「奈良県観光活性化ファンド」は、観光活性化 MF を活用し、同県における観光消費額等の増大及び地域の経済・雇用を支える観光産業の発展に向けた取組支援を目的としております。

今後、観光活性化 MF では、南都銀行グループとの連携のもと、私ども観光活性化 MF のメンバーが有する専門的知見、ネットワークおよびファイナンスノウハウを活用し、奈良県における観光産業の活性化に資する企業への成長資金の供給等を通じて、地域経済の活性化を支援してまいります。

※ なお、「奈良県観光活性化ファンド」等の概要につきましては、別紙をご参照ください。

〔本件に対する問い合わせ先〕

株式会社リサ・パートナーズ 経営管理部 電話番号 03-5796-8500（代表）

108.6219 東京都港区港南 2.15.3 品川インターシティ C 棟 19F

## 【奈良県観光活性化ファンド等の概要】

## 1. 「奈良県観光活性化ファンド」の概要

|          |  |
|----------|--|
| ・名称      | 奈良県観光活性化投資事業有限責任組合   |
| ・設立      | 平成 27 年 9 月 30 日   |
| ・所在地     | 奈良県生駒市   |
| ・ファンド総額  | 1,000 百万円  |
| ・無限責任組合員 | 南都 DC カード株式会社、株式会社 RD 観光ソリューションズ   |
| ・有限責任組合員 | 株式会社南都銀行、観光活性化マザーファンド投資事業有限責任組合  |
| ・投資対象    | 奈良県内に事業拠点を持つ、奈良県の観光産業の発展に資する事業を行う観光関連事業者（宿泊事業者、飲食事業者、地域産品製造・販売事業者、地域交通事業者等）を投資対象とし、その株式、社債、金銭債権の取得等を行う |

## 2. 「観光活性化マザーファンド」の概要

|          |   |
|----------|---|
| ・名称      | 観光活性化マザーファンド投資事業有限責任組合                                    |
| ・設立      | 平成 26 年 4 月 1 日   |
| ・所在地     | 東京都千代田区   |
| ・ファンド総額  | 5,200 百万円   |
| ・無限責任組合員 | REVIC キャピタル株式会社、株式会社 RD 観光ソリューションズ                        |
| ・有限責任組合員 | 株式会社地域経済活性化支援機構、株式会社日本政策投資銀行、株式会社リサ・パートナーズ                |
| ・投資対象    | 旅館、ホテル、特産品生産者および地域交通をはじめとする日本における観光活性化に資する事業者の株式、金銭債権、融資等 |